
鶴岡地域まちづくり未来事業

令和2年度事業報告

令和2年度に事業採択された8地区の鶴岡地域まちづくり未来事業の取組みを紹介します。

1. 三瀬地区自治会
2. 田川地区自治振興会
3. 第二学区コミュニティ振興会
4. 加茂地区自治振興会
5. 小堅地区自治振興会
6. 湯野浜地区自治会
7. 第六学区コミュニティネットワーク
8. 斎地区自治振興会

三瀬地区地域ビジョン推進事業

事業の目的

三瀬地区地域ビジョンの「行動指針」や「活動内容」に掲げた項目を、自治会の運営方針と連動させながら計画的な進行を図っていく。地域ビジョンを住民にわかりやすく周知するため、自治会事業を行う中で「見える化」を図っていく。目標達成に向けた事業の着実な実施により、住民の不安解消、地域特性を向上させることを目的とする。

事業の内容 (令和2年度事業)

- ①三瀬地区地域ビジョンについて、「三瀬イズム 住むを楽しむコミュニティ」をキャッチフレーズに住民への周知を図った。
 - ・地域ビジョン概要版作成 (住民配布用) ・トートバッグの配布
- ②地域ビジョンに掲げた目標の達成のための具体的な事業を実施した。
 - ・三瀬散歩コースの認定事業 (地域を知る、発信する、健康になる)
 - ・マイ防災カード設定事業 (災害に対する意識の向上)
 - ・子育て等の環境整備事業 (見守りの仕組みづくり)

令和元年度実施事業

「三瀬を発信し、三瀬ファンを迎える駅前」整備事業

老木の伐採及び河津桜の植樹、三瀬案内看板の作成・設置、花壇の整備・木製ベンチの配置、東屋の設置、鳥取大学筒井一伸先生 (三瀬地区アドバイザー) によるワークショップの開催

事業の成果

コロナ禍に起因する活動の制限により、なかなか思うように活動が進まなかった。状況を見ながら、健康づくりとして、歩こう会から派生のヨガ教室、防災カード設定から防災訓練の拡充と避難所における初動対応強化の冊子づくり、見守る仕組みづくり体制の充実 (大学生との連携) を進めることができた。

見守りの仕組みづくりを大学生とともに



三瀬散歩コース認定事業の様子



三瀬地域ビジョン概要版

「田川太郎の里づくり」プロジェクト

事業の目的

田川文化発祥の地とされ、地域内に多くの貴重な遺跡や史跡、歴史資料が残されている田川地区において、「田川太郎」を切り口とし、地域住民が一体となり創造的なまちづくり活動を行っていく。

事業の内容（令和2年度事業）

- ・コミセン1階ロビー展示室、2階歴史資料展示室、収蔵室整備

これまで、田川小学校やコミセンに保管されてきた貴重な歴史資料や、寄付を呼びかけ集まった個人所有の民具等を分類・整理・展示した。

- ・ガイドプレート設置準備

来訪者が、地区内の史跡や文化財等をわかりやすく訪れることが出来るように、案内表示を設置するための準備を行った。

- ・「田川太郎」のキャラクター作成

「田川太郎の里」のイメージ戦略として、案内板やパンフレットに使用するキャラクターデザインを募集し、決定した。

令和元年度実施事業

事業採択のみ

事業の成果

田川地域内にある多くの貴重な遺跡や史跡に関する歴史資料を分類・整理・展示することができた。そして、郷土史研究の拠点機能を併せ持った、後世に継承できる施設を整備することができた。

住民の協力により、先人たちの暮らしや文化を伝える貴重な民具の収集、整理を行ったことで、地域文化への理解が深められ、郷土愛の醸成に繋がる環境づくりが進められた。



貴重な民具の整理・展示に小学生も協力しました。



多数の応募の中から「たろうさま」に決定!!

第二学区コミュニティ振興会の取組み

天神祭を中心とする活力ある地域創生プロジェクト

～ 天神祭 人づくり プラン ～

事業の目的

地域の特色ある行事として定着している天神祭を核として、以下を目的に実施する。

1. 天神祭の際に、より多くの人々が二学区に集まる賑わいをつくる。
2. 天神祭を通して培った二学区の人材を、将来の地域の活性化に活かす。
3. 二学区の誇れる歴史・文化などを広く学区住民及び市民に PR する。
4. 三か年の事業が終了しても継続的に取り組める事業内容とする。

事業の内容（令和2年度事業）

地域の特色ある行事として定着している天神祭を核として「天神祭の賑わい」を創ること、天神祭を通して「二学区の人財」を活かすこと、二学区の歴史・文化を発信し「地域への誇り」を育てることを事業の3つの柱として実施。若手有志の会の組織化、賑わいの創出準備、街歩きマップリーフレット等の作成準備に取り組んだ。

- ・祭旗や提灯の設置による賑わい創出
- ・若手有志による大絵馬の展示企画、運営
- ・まち歩きマップ製作準備、案内板設置準備

令和元年度実施事業

- ・賑わいの創出
親子化けもの衣装・法被・祭旗製作
- ・天神祭を通して培った二学区の人材を将来の地域の活性化に活かした。
神輿の担ぎ手などによる若手有志の会の組織化
- ・二学区の歴史・文化を発信し地域の誇りを育てた。
提灯復活のための整備

事業の成果

若手有志の会を組織化し、コミセン事業等で活躍の場を広げ活動した。

賑わいの創出事業は、天神祭が2年間中止となったため本格実施ができなかった。

まち歩きマップ案内板のイラストとキャッチフレーズを、朝二小5年生の学習活動で取組んで貰ったことで、第二学区の魅力を再発見する学びとなった。

オリジナル祭旗による賑わいの創出



加茂ビジョン実施事業

事業の目的

加茂地区にある資源や魅力を活かしたまちづくりを行うため、加茂のビューポイントを定め、加茂の美しい景色を世界中にアピールする。

「北前船寄港地」として日本遺産追加認定をうけた加茂地区をもっと多くの方に知ってもらい、加茂に足を運んでもらうようまちの整備を行い、新たな観光地を作る。

事業の内容（令和2年度事業）

加茂地区地域ビジョンの5つの柱のうち、「自然・風景を活かしていくための活動」と「加茂の歴史・教育を守り伝えていくための活動」の2つについて事業展開した。昨年度まとめたビューポイントをもとにマップを作成した。日本遺産「北前船寄港地」追加認定周知のため、歴史マップ作成し、案内看板を設置し、ガイドの養成などを実施した。また、船乗組員が加茂に残した「泊町大黒舞」の継承用読本の製作にむけ準備に取り組んだ。

- ・ビューポイントマップ作成・案内看板作成
- ・歴史ガイド事業(マップ作成・ガイド養成)

令和元年度実施事業

- ・自然チーム
ビューポイントマップ作成準備
- ・教育チーム
案内看板・歴史ガイドマップ作製準備、ガイドの募集
大黒舞の継承と育成、謡いの半纏製作

事業の成果

住民による歴史ガイドを養成し、一期生6名を輩出。ビューポイントマップを作成し、ガイド場所に看板を設置。料金設定等活動の仕組みづくりも完了し、本格的に実施を開始した。

歴史看板の設置により、住民が加茂地区に興味を持つ機会も得られた。

＜歴史ガイド事業＞

ガイド養成講座を5回開催し、加茂の魅力発信の準備を進めました。



小堅地区自治振興会の取組み

遊休家屋をシェアハウスに、コミセン2階をシェアスペースに
 ～交流から始まる新しい関係づくり。そこから生み出す地域活動と
 安全・安心な暮らし～

事業の目的

遊休家屋の屋外の空き場所を「屋外交流スペース」として整備することで、交流機能を拡張し、集客の増大を図る。これにより、住民の主体性を高めながら、関係人口の一層の創出を図り、地区内外の力を集め「柔軟な力強さ」を引き出す。地域に人が集まり対話が生まれる。

事業の内容（令和2年度事業）

遊休家屋のリノベーションによる移住者用シェアハウスと交流スペース、また、コミセン2階に多様なメンバーが交流できるスペースを整備した。交流機能を持つ住居と空間の設置を通じ、これまで集まって話したり一緒に活動することが少なかった若者・子ども・子育て世代、来訪者が繋がり、関係人口の拡大が図られた。

- ・地域ビジョン策定進行中
- ・シェアハウス屋外交流スペース整備

令和元年度実施事業

- ・SDGs視点でのビジョン策定
- ・シェアハウスづくり

事業の成果

交流拠点を整備し、若者組織「未来創造部会」が地域の課題解決に向けた取り組みを開始している。

東北公益大学の学生による小堅地区ファンクラブ「こがたん」や、シェアハウスに入居した方が期間終了後に定住の意向もあり、関係人口の増加に繋がっている。

新型コロナウイルスの影響でワークショップが計画通りに実施できず、地域ビジョン策定完了が次年度に繰り越された。



シェアスペースを利用した各種イベントの実施により、地域住民、外部の個人、団体等の交流を通じた関係人口の創出が図られています。

湯野浜地区自治会の取組み

湯野浜のみらいに舵をとれプロジェクト～さあ 波に乗ろう！！～

事業の目的

湯野浜地区は緑豊かな山を背後に前面には夕日百選の日本海が広がり北を一望すれば美しい砂浜が続き温泉が湧き出る自然の魅力あふれる地区である。この街の魅力を引き出し住民が春夏秋冬を感じながら心豊かに楽しみながら過ごせる場所の創出を目指す。

事業の内容（令和2年度事業）

夕日百選の日本海や砂浜、温泉等魅力的な自然環境を活かし、住民が心豊かに楽しみながら過ごせる場所の創出として、サイクリングロードの整備を実施した。住民による草刈り、柵の塗装、ベンチとソーラー街路灯の設置に取り組んだ。また、散策路に面した神社、名所に看板を設置した。ロゲイニング大会には130名もの多くの方が参加し、湯野浜の魅力を地区内外の人に伝えることができた。

- ・ロゲイニング企画実施
- ・サイクリングロード環境整備

事業の成果

環境整備等、細かい共同作業を通して地域の繋がりを得ることができた。

体協を中心に若者が「ロゲイニング大会」を企画し、地区の魅力を地域内外に発信した。今後も継続して実施する等、まちづくりの気持ちをもって取り組む体制ができつつある。



ロゲイニング大会



サイクリングロードの環境整備

第六学区コミュニティネットワークの取組み

「共生のまち6楽暮～世代を越えて繋がる居場所づくり～」プロジェクト

事業の目的

第六学区内において、特に高齢化率が高く、ひとり暮らしの高齢者世帯や空き家が増えているなど、同じ課題を抱えている町内会をモデル地区に設定し、住民ニーズに対応した活動の実施や仕組みづくりを行う。

困りごとを気軽に話し合える居場所づくり等課題解決に向けた取組みを展開していくことで、安全、安心に暮らせる地域を目指す。

事業の内容（令和2年度事業）

学区の生い立ちなどの地域特性を踏まえ、狭域コミュニティのエリアマップの作成を検討した。

高齢者及び子ども達が触れ合い、支え合える居場所づくりを検討した。

地域ボランティアの養成、人材育成に向け、課題の洗い出しに取り組んだ。

- ・未来事業支え合いプランプロジェクト組織の立上げ
- ・コミュニティだよりによる活動内容の発信
- ・地域ボランティア養成の検討
- ・交流居場所の検討

事業の成果

子どもも高齢者も誰でも集える、空き家を活用しての「居場所」の設置について検討した。

住民とともに寄り添い、支え合える「共生のまち6楽暮」を目指す。

令和3年度より事業の本格化を目指す。



第六学区地域まちづくり未来事業
プロジェクト結成式



スタッフジャンパー

齋地区自治振興会の取組み

地区住民が郷土を知り、誇りと魅力を発信するまちづくりプロジェクト

事業の目的

齋地区の文化や暮らし、人物等の歴史調査を地区住民全体で取り組み、継承ツールとして小冊子とDVDを製作する。地域めぐりを企画するとともに、講座や子ども会活動等に幅広く活用し、住民が地域の魅力や歴史文化を身近に感じ理解を深めることで、誇りや郷土愛を育む仕組みづくりをする。特に「雪の降るまちを」発想の地を積極的にまちづくり活動に活用し、内外に発信していく。

事業の内容（令和2年度事業）

- ①郷土の歴史文化を伝えるツール作りと継承活動
 - ・「齋ものがたり」小冊子（ガイドマップ付き）の作成、配布
 - ・郷土史個別冊子の製作と現地講座の実施
- ②「雪の降るまちを」発想の地ゆかりの齋地区PR
 - ・「雪の降るまちを」冊子製作及びDVD製作準備
 - ・小学生のミュージックベル演奏を下校時のチャイム放送とした。

事業の成果

地区住民が地域の魅力や歴史を身近に感じ、後世にも継承できる仕組みとツールが整い、容易に学ぶことができるように整備された。

研修会等で冊子を使用し、住民の地域に対する理解を深めながら、「雪の降るまちを」ゆかりの齋地区を内外にアピールした。



歴史・文化を伝える冊子

令和2年度に事業実施した地区では、

～ 地域ビジョンに基づき事業展開しています～

～ 地域の担い手が活躍できる仕組みができました～

☆三瀬地区自治会（地域ビジョン策定済）

三瀬ビジョンの3つの柱の一つ「みんなで元気を生み出し発信するまち三瀬」の具体的活動として、三瀬のシンボルである駅前の環境整備を実施しました。令和3年度は、住民にビジョンの周知を図って理解を深めながら、目標達成に向け、地域を挙げて具体的に活動を進めていきます。



☆第二学区コミュニティ振興会（地域ビジョン策定予定）

天神祭を通して培ってきた二学区の「人財」を将来の地域の活性化に活かすことを目的に、神輿の担ぎ手等天神祭協力者による若手有志の会（仮称）を組織化する準備を行いました。

令和3年度は、正式に発足し、コミセン事業等から活動の場を広げていきます。



☆加茂地区自治振興会（地域ビジョン策定済）

加茂地区地域ビジョンの「自然・風景を活かしていくための活動」と「加茂の歴史・教育を守り伝えていくための活動」を目標に、ビューポイントマップ作成からの歴史マップ作成、そして案内看板設置からガイド養成と活動の幅を広げました。

令和3年度はこれらの活動が持続可能なものとなるよう取り組みます。



☆小堅地区自治振興会（地域ビジョン策定中）

令和2年度は、さまざまな世代の地域住民や来訪者が交流をもてる場を提供することができました。

令和3年度は、さらなる関係人口の拡大を図るべく、地域ビジョン策定に向け活動していきます。

